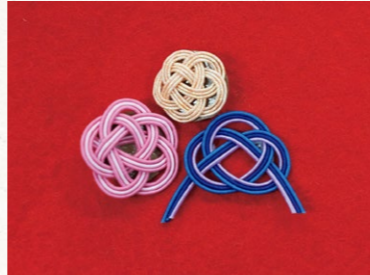


学芸員による展示解説 各日午後2時から30分程度
4月13日(日)、5月11日(日)、6月8日(日)
定員：なし 参加費：無料(ただし観覧料が必要) 申込：不要



体験講座「戦国のよろいを着てみよう」
5月3日(土)・4日(日)
①午前10時～10時30分 ②午前10時30分～11時
③午後2時～2時30分 ④午後2時30分～3時

対象：小学生以上
定員：各回1組5名まで(先着)
参加費：100円(観覧料を含まない、参加費は当日払い)
申込：博物館WEBサイトからオンライン申込または博物館受付にて専用用紙に記入。
申込期間：4月5日(土)午前9時30分～(定員に達し次第受付終了)



たいけんの森 わくわく体験「水引ブローチ」
4月5日(土)～6月29日(日)の土日祝
午前9時30分～正午・午後1時～4時30分
参加費：無料(高校生以上は100円) 申込：不要

博物館講座「尾張平野を語る 29 地域の資料を読み解く」
一宮市域は濃尾平野の木曾川中流域左岸に位置し、縄文時代の中ごろから人々が暮らしはじめ、現在までさまざまな歴史や文化を育みながら、尾張の歴史と文化の一端を担ってきました。一宮市博物館では、これまで博物館講座「尾張平野を語る」の中で自然・考古・民俗・歴史・美術工芸・建造物などさまざまな分野の講師を招き、尾張平野の歴史と文化を紹介してきました。
本年度は、企画展に合わせ、地域資料の研究から見出された成果について、各分野の講師にご講演いただきます。今回は、年3回のうち、第1回を開催します。

「江戸絵画〈私的〉発見物語」
講師：山口 泰弘氏(三重大学特任教授)
4月27日(日)午後2時～3時(午後1時30分開場)
場所：(1)一宮市博物館1階講座室 (2)オンライン(YouTubeライブ)
定員：(1)現地参加：60名(先着) (2)オンライン参加：なし
参加費：(1)600円(常設展示年間観覧券込、有効期限内の常設展示年間観覧券を持参で無料)
(2)無料
申込：(1)博物館WEBサイトからオンライン申込または博物館受付にて専用用紙に記入。
4月5日(土)午前9時30分～4月25日(金)午後5時まで
定員に満たない場合は当日午後1時から受付。
(2)博物館WEBサイトからオンライン申込。
4月5日(土)午前9時30分～4月24日(木)午後5時まで

一宮市博物館

〒491-0922
愛知県一宮市大和町妙興寺 2390
[TEL] 0586-46-3215
[FAX] 0586-46-3216
[URL] https://www.icm-jp.com

公式サイト



@138citymuseum

ichinomiya_city_museum

ichinomiya.city.museum

@138citymuseum

SNS 各種



交通アクセス
名鉄名古屋本線「妙興寺」駅南口より徒歩7分
ニコニコふれあいバス「博物館西」より徒歩5分

Collection Exhibition: Japanese Art Works of Early Modern & Modern Age From Kawai Gyokudo to Maki Susumu



川合玉堂《春峽》



牧進《八重霞》ともに館蔵

美しきかな
日本の春

文化功労者選出記念
牧進作品4点を公開

企画展
川合玉堂から牧進まで
近世・近代絵画コレクション展

2025年4月5日(土)～6月8日(日)

休館日 毎週月曜日(5月5日は開館)、4月30日(水)、5月7日(水)
開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)
観覧料 一般300円(240円)、高大生150円(120円)、中学生以下無料

※()内は20人以上の団体
※市内在住の満65歳以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を提示された方は無料
※身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳(ミライロID可)を持参の方(付添人1人を含む)は無料

一宮市博物館 〒491-0922 愛知県一宮市大和町妙興寺2390
[TEL] 0586-46-3215 [FAX] 0586-46-3216 [URL] https://www.icm-jp.com



14



13

洋行画家たち
佐分眞、伊藤廉、
荻須高德



5



6



4



3



2



1

川合玉堂 風景の理想郷



16



15

加藤金一郎と丹羽和子
風景と抽象

一宮市木曾川町出身の日本画家・川合玉堂の新収蔵作品を中心に、2023年に文化功労者に選出された牧進(1936～)や近世から近現代に活躍した画家の作品を紹介します。

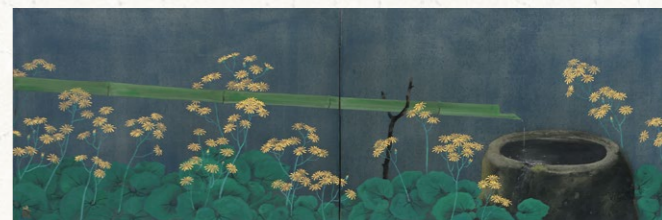
江戸時代後期から現代まで、日本のアートシーンは目まぐるしく移り変わりました。その時代、その土地に生きた画家たちは何を思い、何を描いてきたのでしょうか。5つのセクションに分けて、当館収蔵品約30点を展覧します。また、艶金興業社長・墨敏夫氏が収集した毛織物コレクション(墨コレクション)から絵画的な陣羽織も展示します。豊かな日本美術の世界をお楽しみください。



9



8



7

牧進 美の伝道者

- 1 川合玉堂《溪亭観梅図》
- 2 川合玉堂《空山帰樵》
- 3 川合玉堂《秋山遊鹿図》
- 4 川合玉堂《晚帰》
- 5 川合玉堂《野梅小禽》
- 6 川合玉堂《蛭》
- 7 牧進《石露の花》
- 8 牧進《静思》
- 9 牧進《花明かり》
- 10 月僊《唐人物山水図》
- 11 伊勢門水《末広之図》
- 12 蓑虫山人《護国寺宝物拝観之図》
- 13 佐分眞《プルトーニユの女たち》
- 14 伊藤廉《A.E.氏の肖像》
- 15 加藤金一郎《セゴビヤの祭日》
- 16 丹羽和子《夜の鏡》
- 17 猩々緋羅紗地龍立波刺繍模様陣羽織
- 18 白地羅紗地雲龍模様陣羽織

すべて館蔵



コーナー展示
墨コレクション
陣羽織

18

17



11



10



12

ゆるかわ日本美術
月僊、伊勢門水、
蓑虫山人